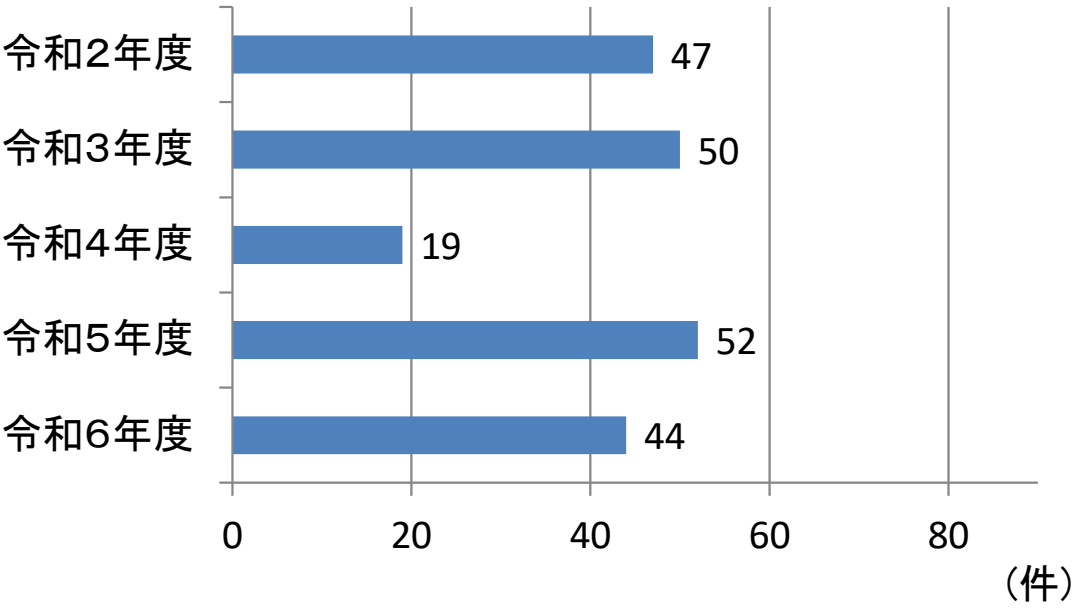


14 超重症児の手術件数

解説	超重症児とは、食事摂取機能の低下や栄養吸収不良などの消化器症状、呼吸機能の低下のために濃密な治療を必要とする小児です。超重症児の手術は健康な小児の手術に比べ、より高度な医療技術と治療体制が必要です。熟練した小児外科医や麻酔科医の配置が必要ですので、小児医療の質の高さを表す指標となります。												
実績	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>手術件数 (件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>44</td> </tr> </tbody> </table>	年度	手術件数 (件)	令和2年度	47	令和3年度	50	令和4年度	19	令和5年度	52	令和6年度	44
年度	手術件数 (件)												
令和2年度	47												
令和3年度	50												
令和4年度	19												
令和5年度	52												
令和6年度	44												
定義	医科診療報酬点数表における、「A212・1イ 超重症児入院診療加算」及び、「A212・2イ 準超重症児入院診療加算」を算定した患者の手術（医科診療報酬点数表区分番号K920,K923,K924（輸血関連）以外の手術）件数です。												